



一般社団法人

# ロゴス腹話術研究会

2020年9月3日

会報

第14号

## 「春風イチロー師匠との出会いから学んだこと」

元牧師 田口昭典（金沢）

新約聖書ヨハネによる福音書の冒頭の言葉は、「初めに言（ロゴス）があった。言（ロゴス）は神と共にあった。言は神であった」とある。神は言によって無から有を呼び出す方、天地万物の創造者である。旧約聖書に登場する預言者イザヤは、「わたしの口から出る私の言葉も むなしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げ、わたしが与えた使命を必ず果たす。」（イザヤ55:11）という主の言葉を記している。

永遠の神の愛の言葉は結晶し、イエス・キリストとなって、世界で最初のクリスマスにわたしたちの世界にやってきた。だから、ロゴスは、神の愛の言葉であり、キリストである。だから、春風イチロー師匠はロゴス腹話術を「キリストの腹話術」とさえ言った。

私たちのロゴス腹話術研究会は、創始者である野田市朗牧師が命名した。そこには熱い祈りと神から頂いた使命、すなわち師匠の心が込められていることを忘れてはならない。

その昔放映されたNHKのTV番組「ある人生」は若き日のイチロー師匠の牧師、伝道者としての姿を見事に伝えている。わたしはこのフィルムをなんと繰り返して見たことであろうか？牧師になりたての頃、師匠の伝道者としての姿に心打たれ、チャレンジを受け、励まされたことであろうか。若き伝道者野田市朗牧師の「なんとかして幾人かでも救いたい」という伝道者の魂が溢れ出ていた。ロゴスの腹話術はイチロー師匠のその心、祈り、願いが込められている。私たちは今もイチロー師匠のとりなしの祈りによって支えられている。

イエス・キリストは弟子作りに心を燃やし、生涯を捧げた。弱さと無理解、罪にまみれた弟子たちを主イエスは忍耐のかぎりまで愛し、十字架に至るまでその愛を貫徹された。つまり、先生を捨てて逃げ出す弟子たちを主イエスは赦し、その立ち直りを信じた。弟子の一人医者ルカは主イエスがペテロの立ち直りを信じて語った言葉を残している。「シモン、シモン、サタンはあなたがたを、小麦のようにふるいにかけることを神に願って聞き入れられた。しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい」と。

イチロー師匠は、弟子づくりに心を燃やしていた。どれほど多くの弟子を生み出したであろうか？ロゴスの心は神の愛である。そしてそれは師匠の心であり、ビジョンであった。師匠から学んだ弟子たちが、師匠の心を持ってそれぞれの場所で、人形とともに人々に仕える。背後に師匠の熱い祈りがあった。



「イチロー週報」という師匠のメッセージが毎週毎週送られてきていた。師匠のお言葉に励まされ、反省しきりのわたしであった。なんとすごいエネルギーかと思わされた。わたしは早速真似をして、「牧師通信」という「牧師週報」を教会に来る方々に送り続けたが、すぐに挫折して長続きしなかった。イチロー師匠の努力と忍耐の凄さを実感したものである。ロゴスの集まりはいつも、礼拝、賛美、祈りから始まる。イチロー師匠の生涯を貫く信仰の言葉は「イエス・キリストはわたしを罪から救い、腹話術は私の人生を変えた」に凝縮していると思う。ロゴスの印刷物の随所にこの言葉を見る。

わたしの手元にイチロー師匠の秘蔵映像がある。わたしが勝手にそう思っているのだが、伊豆天城山荘のそばの「祈りの家・みぎわ」で行われた2泊3日のある研修会の時のものである。

今思い起こせば、よくもビデオ撮影を認めてくださったものだと思う。研修に参加した者の人形を用いて、即興の人形操作を見せてくださった。その面白さと人形操作の見事さに一同爆笑と共に感動を覚えた。

わたしはこの3月で牧師を引退した。40年間の牧師人生で辛うじて続いたものはロゴスの腹話術だけである。昔から「芸は身を助ける」と言われるが、わたしは牧師としてこのロゴス腹話術、そして相棒の人形ケンちゃんにどれほど助けられたことか。人形と共に出かければ大体歓迎され、受け入れられた。一度、刑務所のクリスマスにケンちゃんと一緒に招かれた。どんなことになるか、ドキドキで講堂に入ると、受刑者の方々が無言で次々と席につかれた。刑務官が挨拶をされた。「今日は特別である。自由に笑って良い」と。わたしは呆気にとられた。一人の方が笑った。次々に笑った。暗い講堂が一気に明るくなり、暖かい雰囲気に包まれた。笑いの力はすごい！

ロゴスの腹話術に賛美歌はつきものである。わたしは「主我を愛す」をケンちゃんと40年歌い続けてきた。どんなに下手な腹話術もこの賛美歌を歌うと、なぜか拍手が起こる。ケンちゃんは「もう飽きた（ノウアキタ）」というが、わたしは「一緒に歌おうよ」という。するとすかさずケンちゃんが「一緒にや歌えない」と答える。そして「代わりにばんこに歌いましょう」で笑いが来る。全部イチロー師匠から頂いたパターンである。

人形ケンちゃんと福音を語る腹話術を生涯励みたいと願っている。牧師就任時に頂いた御言葉「死に至るまで忠実であれ」（ヨハネ黙示録2:10）を日々心に思い起こしている。イチロー師匠から学んだことは多い。多すぎて語り尽くせない。イチロー師匠にも沢山の痛み、悲しみがあつたに違いない。それらをも糧として、ロゴスを導いてくださった師匠にもう一度心から感謝。

## 時々あるご質問

回答者 技術担当理事 春風とんぼ

質問：演技に「滑らかさ」がないのに高得点合格はなぜですか？

回答：現在例会での重点練習項目を理解して実演に生かしてほしいと願っています。

### ステップⅠ

- 1 笑顔の入場
- 2 発声（頭音と胸音）
- 3 9パタと審査項目

### ステップⅡ

- 1 笑い
- 2 正しい打音
- 3 まばたきと1級・2級項目

### ステップⅢ

- 1 ベースはマルコの123
- 2 目線・三角関係・通い
- 3 「ま」は4・0と全項目

上級者は演技の上に演出を加え「ま」の4・0をどのように生かしていくか努力を重ねております。ステップⅢの1でボディの動き、2で観客・人形・術者の心がどう通い合うかその妙味、そこには「無打音の打音」の演出もあったので見落とさないよう、ごこちない動き、操作は「ま」の妙味です。拍手してやってください。

## 腹話術で語る被爆体験

小谷孝子さん取材したあるジャーナリストから、イチロー師匠についても教えて欲しいと事務局に連絡があったことを契機に、小谷さんにその腹話術の活動（公演動画と著書）を当研究会で紹介することのご承諾をいただきました。

腹話術の動画の中で、小谷さんは8月6日広島の体験を静かに、じっくりとあっちゃんに語っています。あっちゃんは小谷さんに寄り添い、耳を傾け「そうだね」と応じます。「健康でいる私がこの体験を語っていくのは使命」との境地にたどり着くまでには、実に長い長い時間を要したそうです。この語る勇気と力強いメッセージに心揺さぶられる腹話術でした。「腹話術で語る被爆体験」で検索するとYouTube(動画サイト)で見れますので、ぜひみなさま、小谷さんの腹話術動画を視聴してください。



小谷孝子さん

### 『あっちゃんと語る被爆体験』より

体験を語る際は相変わらず一人。写真や絵を使っていましたが、弟や母が亡くなる話になると、どうしても涙が我慢できなくなります。こんな感じで話しているのか、子どもたちが夜眠れなくなったりしないかと悩んだことも度々。

その間も（春風イチロー）師匠は「まだ、あっちゃんと話せないのか？」と、何度も尋ねてきます。

そして2010年（平成22年）の8月6日、千葉県庁で被爆証言をすることになり、今度は友愛会の方からも「腹話術で話してほしい」という要望が寄せられました。

…とても困りました。技術力もさることながら、気持ちをたかぶらせず、落ち着いて話す自信がどうしてもありません。

そんな私の困惑ぶりをみて師匠が、

「平和を語るのにテクニックはいらないんだよ」

と、おっしゃってくださいました。

そして、あっちゃんとの腹話術のやり取りについて、

「亡くなった弟と話すように向き合ってください。あっちゃんは『そうか』『痛かったね』『つらかったね』というだけでいい。あっちゃんに、お話を聞いてもらうようにやりなさい」

というアドバイスをくださったのです。

「なるほど、弟と話す感じでやればいいんだ」

目の前がパッと開けました。

もし、弟が生きていたら、「こんな平和な世の中になったのよ」って、いろんなところへ連れて行ってあげたい。あれも、これもみせてあげたい。

「つらいときはあっちゃんが助けてくれるよ。謙虚な心で頑張りなさい」

と師匠にはげまされ、初めてあっちゃんと望んだ千葉県庁での被爆証言。

どうにか、二人で乗り切ることができました。

その後、当日の様子が地元テレビ局や新聞各社で報道され、私たちのことが県内に広く知れわたりました。それに伴って証言の依頼も増加し、あっちゃんと出歩く機会が多くなりました。

実はあっちゃんと被爆体験を語るまで、弟の顔も、どんなお世話や遊びをしていたかも、知らず知らず忘れていたんです。

でも、今は弟がずっと私のそばにいるような感じで、服の着替えを手伝ってあげたことや、砂遊びをしたことなど、いろいろ思い出せるようになりました。

不思議ですね。

### 本著・推薦のことばより

ピースポート共同代表、

核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）国際運営委員 川崎哲

小谷孝子さんの『あっちゃんと語る被爆体験』を手にとられた皆さん。ぜひ気軽に、この本を読みすすめてほしいと思います。気軽になんて、ほんとうは言っちゃいけないのかもしれませんが。原爆の体験はすさまじく、だれにとっても重苦しいものです。軽々と語れるものではありません。それでも小谷さんは、いつも笑顔で、かわいらしいあっちゃんと一緒に、そのすさまじい体験を、やさしく、やわらかく語ってこられました。その言葉が一冊の本にまとめられたことを、私はとてもうれしく思っています。

（中略）

小谷さんは、広島で被爆したときに6歳でした。小谷さんと同じくらいか、あるいはもっと小さいときに被爆した人たち、あるいはその子どもたちが、どうすれば広島や長崎を語り継いでいけるだろうかと考えておられます。当時のことをはっきりと記憶していない自分に何が語れるか悩んでいる方もいらっしゃると思います。自らすんで語ろうとはしない被爆者の方々も大勢いらっしゃると思います。若い世代が原爆について語れるようになるにはどうすればいいのかというのは、皆にとっての大きな悩みです。

そんなとき、持ち前のみごとな腹話術であっちゃんと一緒に原爆の体験を語る小谷さんに出会いました。ぜひ船に乗ってくださいとお願ひしました。小谷さんとあっちゃんは、世界各地で、そして船上で大活躍されました。可愛らしいあっちゃんがいたからこそ、話を聞いてみようと思ってくれた方も多かったと思います。そして、地球一周の船旅から帰ってこられた後、小谷さんとあっちゃんは各地に引っ張りだこです。とても心強く思います。



小谷孝子著：あっちゃんと語る被爆体験。「核」も「戦争」もない未来を願って。

なかおかブック、東京、2019年

## ～芸名襲名～ お祝い 理事長 野田めぐみ



### 春風たみ子様

2019年11月に師範合格、『春風たみ子さん』が誕生されました。おめでとうございます。歯科衛生士としての使命をお持ちで、楽しい歯磨き指導にはげんでいらっしゃいます。40年という長い腹話術経験とともに、これからはロゴスの春風として、ますますのご活躍を期待しております。春風たみ子さんとケンちゃんのコンビで、幸せを広めてください。

### 「私と腹話術」

### 春風たみ子

- けんちゃん
- × ナアーニ
- あのねえー
- × ウン

何回このフレーズを口にしたことでしょうか。最初は、高い、黄色い声が出ていたのに…。今では、年齢を感じさせる声となりました。

私が腹話術と出会ったのは、息子が幼稚園の時、そこで開かれた「交通安全教室」。豊田市の交通公園の方が、人形を抱いて現れ、人形とお話をされたのです。会場は笑いの渦に包まれ、子どもたちの目がキラキラと輝いて、それまでとは全然違って見えました。

私は、歯科衛生士として「歯みがき指導」をしていたので、(これだ!!)と思い、「腹話術を教えてください」と、その場でお願いしました。

これが春風いく子先生との出会いでした。春風イチロー師匠からも、ご指導を受けました。私が「歯みがき指導で腹話術がやりたいです」と言ったら、すぐに、歯科医師で腹話術をやっていたらっしゃる、春風あずさ先生を紹介してくださいました。

私は歯科衛生士として「予防歯科」に取り組もうと、それからは幼稚園、保育園、小学校、敬老会、老人施設等へ、けんちゃんと一緒に出席、ご奉仕させていただいています。

一番嬉しかったのは、子どもたちが、けんちゃんを友達だと思って、自分と同じ目線で「けんちゃんと一緒に歯みがきしようね。」と約束してくれたことです。ご高齢の方々も、「孫みたいな子だなあー、また来てくれよ。」と、声をかけて下さいました。

あれから40年。

この度、師範のお免状と「春風たみ子」の芸名をいただきました。

イチロー師匠や春風とんぼ先生、春風赤とんぼ先生、豊田腹話術の皆さんの“おかげ”と感謝しています。皆さんとご一緒に、今日まで腹話術が続けられましたこと、とても嬉しく思います。

そして何より家族。家事の手抜きや、夕食が出来ていなくても、何も言わなかった夫。台詞を私より先に誦(そら)んじて「ばあちゃん、そこ間違ってるよ。」と指摘してくれた孫たちに、感謝したいと思います。

これからも腹話術と共に精進し、少しでもロゴス腹話術研究会の進展に貢献できたらと願っています。今後共よろしくお願ひ申し上げます。





## 春風笑美子様

2020年2月に師範合格、『春風笑美子さん』が誕生されました。おめでとうございます。人形えいと君と親子関係(?)の楽しい腹話術コンビで、周りの人たちに素敵な笑顔を広げてくださっています。これからもロゴスの腹話術の仲間をどんどん増やし、一緒に勉強し、台本を書き、励ましあいながら「ロゴスの心と技」を深めていってください。

### ぼくは、腹話術のお人形「えいと」

春風笑美子

ぼくが初めてお母さんと会ったのは、2007年12月中頃。場所は春日井の鷹来公民館だった。お母さんは、春風とんぼ先生にぼくの抱き方を教えていただき、初めてぼくを抱いた。ハダカだったけど、とても可愛って言われてうれしくなった。家に帰る途中、男の子用ズボンとシャツ、靴下を買ってもらった。名前は、お父さんとお母さんから一文字ずつもらい、お母さんが名づけた。そしてぼくは「えいと」になった。(岸家の大切な息子である)。

ぼくがお母さんと出会って3カ月目、なんと鷹来公民館祭りがあり「イツツ」を演じた。大勢のお客様にドキドキした。台詞を忘れず間違わずというので精一杯。舞台を降りた時にはホッとした。でも色々な人と出会うのは楽しいと思った。

その後は、春風テッセルさんのお人形「レイちゃん」と一緒に過ごすことが多くなった。2008年8月レイちゃんの1級挑戦の応援で天城の全国大会に行き、初めて春風イチロー師匠にお会いした。師匠はちょっと怖そうな感じだった。その場で4級の認可を頂いた。研修にはたくさんのお人形の仲間がいてビックリ。1級や春風に挑戦する人の演技は、素晴らしかった。また各地域ごと舞台上がり、師匠の前で1パタで演技を披露。どの人にも緊張が感じられた。でも良い緊張感だったと思った。

レイちゃんと一緒に保育園・児童クラブ・デイサービス・元気はればれ教室へと出かけて行った。交通安全の話、物語などをした。保育園では、「ロボットでしょう」と言われショックだった。動きがどうにもぎこちなかったのかな。でもデイサービスでは、ぼくが顔を見せるだけで、「可愛い!!」と言われた。そして名札を見てすぐに名前を呼んでくれた。「お母さんにそっくり!」と言われた。お母さんは、「えいと君にそっくりで、えいと君は可愛いから、私もカワイイでしょう」と言っていた。するとデイサービスの人は「こんなに笑ったのはひさしぶり」と大笑いしていた。この時、ぼくは腹話術のお人形「えいと」で良かったと思った。

帰りには、内容についての反省会。「まばたきが足りなくて、目が乾いたのでは?」、「口を開ける回数(打音)が少ないとおしゃべり出来ない」等々。そしてレイちゃんの動きを見て、良い勉強になった。途中からは須網さんのお人形「けんちゃん」とも仲良くなった。3人での勉強は、より盛り上がった。

新型コロナウイルスの影響で出かけることが少なくなった。そこで『腹話術のすべて』3ページから12ページのイチロー師匠とお人形の「ケンちゃん」の写真・解説を何度も見て読み返した。目線、表情、次々と変わる動きの中で、どのような会話が生まれていたのだろうか。会場はどんな雰囲気なのかと想像していた。きっと師匠とケンちゃんは、周りの人を惹きつける魅力を持ち、ロゴスの心を伝え、心から楽しいと思える時間を、会場の人と作り出されていたことと思った。

ぼくももっと魅力あるお人形になりたいな。そしてぼくの仲間が増えて欲しい。これからはいろいろな所に出かけ、僕を紹介してね。お母さんガンバレ。それといつまでも僕を愛してね。

「もちろん愛してますよ・・・母より」



## 祝辞 技術認定委員長 春風とんぼ

### 春風たみ子さん

わー! たみ子さん、おめでとう。

待ちに待った、春風の誕生です。

本当に、待ちに待ったのです。代表の赤とんぼさんが、もうそろそろトップと組織を固め直したいと申し出ていたからです。

豊田には、天城山で鍛えられた会員がひしめいていて、もう三十年選手はザラ。

その中から抜き出て来た人ですから、私にとっても楽しみにしていました。

案にたがわず、じっくりじっくりと技を磨いてくれました。台本をくりかえし推敲を重ねてくれました。

春風に期待するものは、ロゴスの腹話術を正しく伝承するために、御自身の理論武装を確かなものにしてほしいと思っています。

そしてグループの中心において、その固まったものを型にはめ込んで、

どこから見てもロゴスの腹話術であってほしいと願っています。

とんぼにとってロゴスの腹話術とは、「イエスキリストは罪から私を救い、腹話術は私の人生を変えた」この実感です。

残念なことに信仰的にキリスト者を育てることが出来ていませんが、聖書にある「よきサマリア人」のように、

生命を大切に、真の友人であるような働きを通して、世間に「健康な笑い」を育て、

又、今、とんぼが会員に、とりわけ春風に求めていることは、「目線」の通い交りが温い心を掘り起こしていることを実感し、

自信を持ってロゴスの腹話術を大きくふくらまして頂きたいと祈っております。

(お詫び) 昨年11月に技術認定に高得点で見事合格しておりましたが、

ご存じの新型コロナの影響で繰り延べを繰り返しました。

認定状は、感染経過を見ながらお渡しいたしました。

ご家族、友人そして会員共々、たみさんの「春風たみ子」芸名を祝福して下さい。

### 春風<sup>えみ</sup>笑美子さん

笑美子さん、おめでとう。

待っても、待っても、師範合格以来 何か月経ったのでしょうかね。

でも正真正銘「春風」ですよ。豊田のたみさんと一緒に、みんなでお祝い会を予定していたのに、

「よくも新型コロナめ!」と叫びたいのですが、せめて私共から発症させないように、

私共は「菌」「ウイルス」をもらわないよう細心の注意を払って行きましょう。

笑美さんの自然な笑顔、芸名は師匠が付けるものですが、イチロー師匠がおられても大賛成請け合いです。

一宮のグループは、独創性溢れる何物かを持っております。

「イツツ」のスタンダードの演技はとてすてきです。天城山研修の中でも、推薦して演技を務めてもらいました。

その基本のなかから生まれた師範認定の演技でしたから安心して観ていることができました。

先輩テッセル共々、演技部門を担って頂けるものと期待しております。

台本について、演技、演出についても次々生み出しておりますので、

ロゴス全体の働きの中でも、指導力も先輩たちと共に協調して盛り上げて頂きたいと期待しています。

(お詫び) 師範の認定を受けてから随分、日が経過しました。全ロゴスを挙げて、

たみさんと笑美さんの「芸名披露・感謝会」を秋に予定しております。

しかし、ご存知の通り、新型コロナの厳しさに、まず健康。

この期間は各自の台本を大いにふくらませて時期の来るのをお待ちください。

認定状だけは、前もって付与いたしました。

たみ子・笑美子共に立派な春風です。

よろしくお交わり下さいますように、お願い申し上げます。

#### I: きっかけ

1990年、当時勤務先であった一宮市立の保育園に、春風とんぼ先生始め、春風イチゴ・春風福笑先生3人が来園。腹話術を見せて頂いたことが縁で、私の腹話術人生が始まった。職員たちは、目を輝かし、「楽しそう…」「やってみたい…」と刺激を受けた。今まで腹話術の人形をしまいこんでいたが保育の場で改めて活用するようになった。またぬいぐるみの口を開け動かすようにする等々、保育活動に活かすようになった。(私は知り合いからお人形を借りることができ「愛ちゃん」と名付け、楽しく?勉強するようになった。)依頼を受け快く出向いてくださった、3人の先生方に感謝している。

#### II: 初心者研修に参加して

翌々年(1992年)、春日井鷹来公民館にて受講。

- けんちゃん (術者 人形を見る)
- × ナーニ (人形 術者を見る)
- あのねえ (術者 正面を見る)
- × ウン (人形 正面を見る)

9パタである。何をどのようにするの?「見る」と「やってみる」とは大違い。「何度も繰り返しが大切です」とのことで安心。個人台本提出。原稿用紙2枚にまとめる。考えて、日頃の子どものたちの会話から、「運動、大好き♡」を作成。とんぼ先生に格好よく添削していただき、完成した。次から次に課題があり、腹話術は奥が深い!続けて学びたいと、ロゴス腹話術研究会に入門した。三重県で春風イチゴ師匠の個人指導を受け4級合格(オメデトー!師匠のお隣で食事会。頭真っ白)。春日井全国大会や天城山荘での

本部研修等々体験させていただいたその度ごと、大勢のスタッフの方々のお心遣いやご努力に感謝するばかりであった。




III: ロゴス腹話術は仲間と共に  
定例会に一人で参加。縁あって8年後に須網さん、その8年後に岸(春風笑美子)さんが加わり、往復の車内で発声練習やその時々課題等話し合った。また依頼を受けたボランティア活動についても、時間を合わせて打ち合わせや練習する機会を持てたことが良かった。その都度反省することが大切である。全国のロゴス腹話術においても、会員相互顔合わせの機会を持ち、課題を持って話し合うことが、一層のスキルアップにつながると思う。仲間がいることの幸せを肌を感じている。

#### IV: 心と身体を元気に…「楽しく腹話術」を♡

あいうべ体操。通院している歯科医でカードをいただいた(下図)。なーんと、ロゴスの口の体操、顔の体操だ。顔、口、喉…等バランス良く動かすことが可能。次に発声練習ウオアエイ続けてみたら口の周りがすっきり。

V: 今まで学んだロゴス腹話術の心と技を大切に、これからも仲間と共に、ボランティア活動に楽しく取り組んでいきたい。



あいうべ体操: 次の4つの動作を順にくり返します。できるだけ大きめに、声は少しでOK!

- (1)「あー」と口を大きく開く
- (2)「いー」と口を大きく横に広げる
- (3)「うー」と口を強く前に突き出す
- (4)「べー」と舌を突き出して下に伸ばす

(1)~(4)を1セットとし、1セット4秒前後のゆっくりとした動作で!  
1日30セットを目安に毎日続けます。  
(みらいクリニックホームページより)

### 春日井ロゴス

### 私と腹話術

### 須網幸子

1998年5月、私が勤務していた児童館行事に春風テッテルさんが来館し、腹話術を演じていただきました。レイちゃんの大きな目、口にビックリ、また術者の笑顔、話し方に子どもたちも吸い込まれるように見えました。

そんな時「春日井で月1回の勉強会がある」と誘われ、初めて春風とんぼ先生に会いました。それぞれのお人形とお母さんに、個性があり、楽しく勉強している姿にとっても興味を持ち、すぐに春風とんぼ先生にお願いし、「けんちゃん」が私の所にやって来てくれて、一緒に腹話術を勉強することになりました。

笑顔、発声、9パタ…等々、どれをとっても難しく覚えるのに必死でした。やっと基本台本(イツツ)を覚え児童クラブで発表、子どもたちとのやり取りに冷や汗をかきました。

それから、仕事の都合で一時期お休みすることがありました。再度、テッテルさんに、腹話術を依頼した時、春風笑美子さんと二人で児童館の行事を盛り上げていただきました。その時「けんちゃんどうしてる?」とテッテルさんに声をかけてもらいました。私も退職の時期となっていましたので、一念発起し、けんちゃんと対面すると、久しぶりのけんちゃんはとても重くなっていました。テッテルさんとレイちゃん、笑美子さんとえいとくんと共に春日井の定例会に参加するようになりました。

春風とんぼ先生始め春日井の皆さんにご指導を受けながら、けんちゃんも頑張っていきたいと思います。保育園、児童クラブ、デイサービス等々、依頼されたボランティア活動を膨らませています。改めて人と人のつながりの大切さを、人形を通して感じる事が出来ました。これからもけんちゃんと共に勉強していきたいと思います。

